



“Tariff is the most beautiful word in the dictionary”- Trump

関税とは辞書にある言葉の中で最も美しい言葉だ - トランプ

トランプは米大統領選で中国とメキシコを筆頭に世界からのすべての輸入品に高関税をかけると言い、中国から輸入品には最高 60%、メキシコからには 25% から 200%、日本等その他には一律 10%から 20%かけると言った。

トランプが次期大統領に決まる前の 11 月 4 日のダウ平均は 41,450 ドルであったがトランプに決まった 11 月 6 日から昨日 11 月 27 日の 44,860 ドルまで 17 営業日で 3,400 ドルも急騰している。

いわゆるトランプ相場(Trump deal)である。

私は増田塾の皆様へ昨日日本時間 11 月 27 日の「本日の株式指南」で「トランプ相場は今日で終わりだ」と述べた。

予想通り今日(NY 時間 11 月 27 日・日本時間 28 日)のダウは 138 ドル安、ナスダックは 115 ドル安、S&P500 は 22 ドル安で 3 市場すべて下がった。

トランプは就任初日に、中国、メキシコ、カナダを筆頭に日本を含む対米輸出国に高関税の大統領令を出すと言う。

世界銀行、アジア開発銀行など多くの国際機関で採用されている権威ある IDE-JETRO のアジア経済研究所の分析によると、仮に 2025 年からアメリカが中国に 60%、他に 10%の関税をかけた場合、GDP においてアメリカはマイナス 1.9%、中国はマイナス 0.9%、日本はプラス 0.02%、アセアン諸国はプラス 0.3%、インドはプラス 0.3%、EU はプラス 0.1%、世界全体ではマイナス 0.5%となる。

アメリカ経済主力自動車産業はマイナス 4.5%、農業はマイナス 1.0%、サービス業はマイナス 2.3%である、一体誰の為の関税政策なのか？

トランプは、目に見えないアメリカを動かしてきた勢力に操られているようだ。

債務者(アメリカ)の債務が嵩み返済不能に陥った時、債権者(ユダヤ資本)は債務者に何をやるだろうか？

考えてみれば、トランプと言うピエロはアメリカの為と信じているが、実はアメリカ経済を破綻に追い込もうとしていることが見て取れる。

2025 年は人類の歴史が経験したことのない年になる！

増田塾で、誰も知らないことを学んで下さい。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.144

『トランプとアメリカの運命』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 144 は好評発売中です。

内容は、*ディープステートに勝てない合衆国 *ドル発行権を持つ FRB に勝てない合衆国 *中国に負けているアメリカ *トランプは世界を犠牲にして合衆国を勝利に導く *世界(日本を含む)の犠牲はかくの如しです。価格は、1冊 4,800 円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。